

業界初の低温処理イオンプレーティング装置を開発し幅広い素材の加工を実現

大手眼鏡フレームメーカーで、長年イオンプレーティングの技術開発に携わってきた社長が独立し、2005年創業。超硬質で上質なカラーリングに特徴のあるイオンプレーティングの受注加工並びに、イオンプレーティング装置製造・販売業を展開。独自開発のイオンプレーティング装置により業界初の低温処理が可能となり、金属だけでなく幅広い素材への加工を手掛ける。

●所在地 福井県鯖江市吉谷町2-97

●電話/FAX 0778-52-9077/0778-52-9078

●URL <https://www.ncc-japan.com/>

●代表者 代表取締役 下内 孝博

●設立 2005年

●資本金 1,500万円

●従業員数 15人



業界初プラスチック製品のイオンプレーティング加工を事業化

イオンプレーティングとは航空宇宙技術の一貫としてアメリカNASAで開発された技術で、切削工具や金型の耐久性向上の技術として世界に広まった。同社では独自に開発した装置とその装置のオペレーションプロセスのノウハウにより、金属以外の加工も可能とした。低温処理技術によりプラスチック製品へのイオンプレーティング加工を業界で初めて事業化した。オーダーメイドによる設計から製作・運用サポート・メンテナンスまで一貫して行い、納入先とワンストップで繋がることで価格競争を回避できた。



装飾性の高いプラスチック製品

合併会社を設立し東南アジアでイオンプレーティング事業展開

イオンプレーティングの海外事業展開を見据え、台湾での商談会に参加。2020年に台湾での合併会社設立が確定しており、現在、現地でのイオンプレーティング技術者・管理者の育成に注力している。合併先は電気メッキ装置の製造販売事業で東南アジアの華僑系企業を中心にシェアを持ち、当社のイオンプレーティング受託加工事業との連携により表面処理事業のシェア拡大を目指す。合併は数年後の東南アジアへのイオンプレーティング装置販売事業も視野に入れ取り組んでいる。



イオンプレーティング装置で海外展開

地域の眼鏡産業で培った独自の加工技術で課題解決に貢献

鯖江市の基幹産業の眼鏡産業で培った独自技術により、眼鏡フレームの表面処理企業に装置の販売、技術を指導している。市内の越前漆器メーカーや近隣の越前焼（陶芸）の工房と連携した新商品の開発。高度なチタン加工技術で医療機器（外科手術器具）の製造する眼鏡メーカーと協力し、人にやさしい金属アレルギーフリーの同社のイオンプレーティング被膜技術の活用に取り組んでいる。社長は“大きい会社”ではなく、従業員にも、顧客にも、社会にも、満足感、幸福感を届けられる“良い会社”を目指している。



人に無害の金属被膜に対応した製品